

第2章

中学1年生

加藤直志・前潟 誠・中村 忍
今井八栄・松本真一

(1) 目的

中学1年生のテーマは「生き方を探る」である。現時点で自分の興味のある生き方、職業について個人で探究することで、6年間の学習の動機付けを目指した。

また、サブテーマとして「総合人間科の基礎を身につけよう」を掲げた。これは、大テーマに関わらず、6年間の総合人間科の学びに共通して必要な学びの方法（スキル）について基礎から身につけさせたいという意図である。例をあげると、インタビューのしかた、フィールドワークに行く前のアポの取り方、手紙の書き方、さらにはレポート執筆や口頭発表（プレゼンテーション）の方法などである。これらのスキルを1年目にしっかりと身につけておけば、6年間を通して、テーマが変わったとしても十分に対応していけるはずである。

(2) 実施方法

- 1) 研究そのものは個人研究の形をとったが、随時、協同学習的要素も取り入れる。
- 2) 各自の希望進路に応じた、フィールドワーク先を選定し、各自で申し込みを行い、訪問する。
- 3) 事前事後学習及びフィールドワークで学習してきたことをもとに、レポートにまとめる。
- 4) レポートをもとにした、研究発表会（プレゼンテーション）を開催する。

(3) 内容

中学1年生は何をするにも初めてのことが多いため、ひとつひとつ丁寧に説明することを心掛けた。フィールドワーク先は、生徒各自の関心の深い分野を研究している大学の先生であったり、自分が将来就きたいと思っている職業の方であったりと様々であった。さらに、ただ訪問して満足するのではなく、レポート作成や研究発表（プレゼンテーション）などで、学んできたことを他の生徒に発表することにより、生徒がお互いから学び合い、視野を広げていけるよう促した。

また、レポート作成や研究発表などにおいては、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域と関連づ

けて、名古屋大学教育学部附属中・高等学校国語科著『はじめよう、ロジカル・ライティング』（ひつじ書房、2014年）も使いながら指導した。

平成27年度 中学1年生 総合人間科 指導計画

回	授業内容
1	総合人間科オリエンテーション
2	保護者へのインタビュー
3	保護者へのインタビューのまとめ
4	「伝記」を読もう 新聞記事の切り抜きを作ろう
5	「伝記」・新聞記事の発表会
6	
7	教育実習生へのインタビュー
8	
9	関心のある職業・生き方についての調べ学習
10	個人テーマの設定と夏の課題
11	アポ取り本番 and 依頼状作成
12	
13	
14	フィールド・ワーク直前指導
15	事前学習を深めよう
16	フィールド・ワーク本番
17	フィールド・ワーク事後報告会
18	レポート執筆
19	
20	プレゼンテーション準備
21	
22	
23	プレゼンテーション
24	
25	
26	高校3年生からのメッセージ
27	事後アンケート

平成27年度 中学1年生 総合人間科
フィールドワーク先の例（一部）

名古屋大学
東山動植物園
陸上自衛隊 守山駐屯地
名古屋市立西部医療センター
日本経済新聞社
名古屋市交通局
名古屋国際センター
独立行政法人国際協力機構JICA
名古屋市博物館 名古屋市消防局消防航空隊
岐阜大学
日本公認会計士協会
名古屋外国語大学
東海テレビ
たんぼぼ調剤薬局
日本気象協会中部支社
中日新聞社
ミツカン

た生徒が多かったと思われる。26年度の反省を生かし、27年度はフィールドワークの前に「第15回 事前学習を深めよう」という授業を行った。事前学習として、どんなことを学んでおくべきなのかを講義した後、実際に調べ学習を行わせた。さらに、その内容を全員がクラスで発表する機会も作った。教員側としては一定の効果があったのではないかと思っはいるが、年度末の生徒向けのアンケート結果に注目したい。（文責 加藤直志）

（4）検証評価

平成27年度については、本稿執筆時点では、授業を実践しているところであり、検証評価の段階にまで至っていない。そこで、類似の内容で実施した平成26年度の例を紹介しておく。

平成26年度の最終回に行ったアンケート項目に、「今年度、みなさんは様々な研究の方法を学びました。(中略)これらの活動を振り返って、将来に役立つものはありましたか。1年間の総合人間科の授業を受けた感想を書いてください。」という質問があった。これに対するいくつかの解答を紹介する。

- ・「プレゼンテーション本番では、ほかの学校ではあまりやらないことができたのでよかった。これは会社に入社したときにも役立つそうだったと思った。」
- ・「私は全てだと思う。アポ取りだって、成人したとき電話するし、依頼状・お礼状は目上の人に書くときに役立つし、プレゼンテーションは例えば会社・企業などで発表したりするときに役立ったり、いろいろな場面で役立つ。」

この質問項目に対しては、授業内容に対しておおむね肯定的な意見が多かった。一方、「あなたの取り組みを自己評価して、その評価理由を書いてください。」という質問に対しては、次のような反省の弁もみられた。

- ・「事前学習が不十分なことが行ってみてわかった。」
- ・「プレゼン大会はかなり努力したが、事前学習をあまりしなかった。」

初めての経験で、どの程度の事前学習をするとよいかがかつかめないまま、フィールドワークに行ってしまう